

# 日野病院の地域医療総合教育研修センターだより

【長い間、ありがとうございました～\_(^)\_~】

井上 和興

鳥取県からの派遣できた平成18年から4年間、鳥取大学医学部地域医療学講座所属での平成26年から7年間、大変お世話になりました。

初めに来た4年間は病院で外来や病棟や訪問診察を一生懸命頑張ってやろうと思っていました。地域医療学講座に所属しながらの7年間は保健と福祉と医療がよりスムーズに連携できるように頑張ろうとやってきました。写真の仲間とその周りにいる仲間に恵まれ、住民のみなさんにその人に合ったケアを提供していくことができたのではないかを感じています。

井上は医師になって20年となりましたが、その半分以上日野病院で過ごさせていただくことができました。なかなか至らぬ点もたくさんあったと思うのですが、みなさんに見守っていただき、楽しく仕事させていただくことができました。

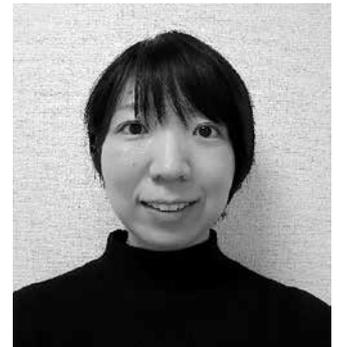
令和3年度からは、大山診療所で新たな地域医療を模索していくこととなりました。日野病院での経験を活かしながら、大山町でも頑張っていきたいと思いますので、みなさんもお元気で過ごしてください！



【久しぶりに鳥取に帰ってきて】

山本 栞里

2018年に鳥取大学を卒業し他県で研修していましたが、2月から週に2回、日野病院で勤務しております。第二の故郷である鳥取県に帰ってきて懐かしさを感じるとともに、学生ではなく医師として関わらせていただくことに身の引き締まる思いもあります。未熟者ですが、皆様のお力になれるよう頑張ります。よろしくお願ひ致します。



鳥取大学医学部地域医療学講座では今年度新たな体制となり、日野病院を中心とした日野郡エリアの医療に取り組んでいきます。日野病院の病棟では、医師が日替わりに交代する「チーム診療制」を数年前から実践中です。医師チームでの議論を盛んに行い、チーム医師全員が患者さんの主治医として関わっています。医師の顔や声が日々変わりますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。（文責：紙本）

## 発熱外来棟が完成！

新型コロナウイルス他各種感染症に対応する発熱外来棟が2月22日に完成し、3月8日から運用を始めています。

発熱外来棟の完成により、一般患者と発熱患者の動線が分けられ、患者同士の接触を防ぐとともに、地域医療崩壊のリスクをはらむ院内感染の回避につなげるなど、より安心・安全に受診していただける環境が整いました。

